

# #2313

富士展望シリーズ(10)

## 甲斐駒ヶ岳

実施日 二〇〇七年八月一〇～一二日(金～土)

天候 快晴

リーダー 吉田 正之

参加者 友近洋子、吉田正之、佐藤金治、伊東勝昭、福島政幸

計 五名

費用 電車 新宿～甲府 往復(特急回数券) 五六〇〇円

タクシー 甲府～広河原 往復 四五五〇円

バス 広河原～北沢峠 往復 一五〇〇円

交通費 計 一六五〇円

宿泊費 一泊二食 六五〇〇円

費用合計 一八一五〇円

コースタイム 一日目 甲府駅(一〇時一四分)～二〇分タクシー)

広河原(一一時五〇分)～一二時二〇分バス

北沢峠(一二時四五分)～一三時二〇分

昼食(仙水小屋)(一四時) 泊

二日目 仙水小屋(4時45分) 仙水峠(五時一五分)

～(二五分) 駒津峰(六時五五分)～七時五分

甲斐駒ヶ岳(八時三五分)～九時 駒津

峰(一〇時二〇分)～五五分(昼食) 双児山

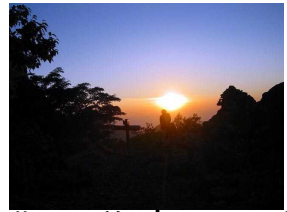
(一一時三〇分)～四〇分 北沢峠(一三時

三〇分)～四〇分バス 広河原(一四時五分

～一五時三〇分タクシー) 甲府駅(一七時

～七分電車)

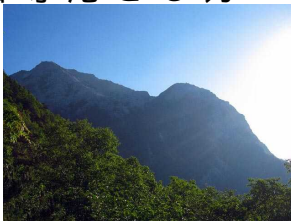
甲府駅からタクシー、広河原からマイクロボスと乗り継ぎ北沢峠に到着。甲府は猛暑であったが、さすがに標高2030mの峠



は快適。昼食後、峠をやや戻り、北沢沿いに登ること四〇分で仙水小屋着。北沢の源流地で水がふんだんに使え、評判の食事も期待通りで、完全予約制のため、寝る場所も一人一畳分あり、有り難い。

翌朝、四時からの食事。五時前に仙水小屋出発。ゴロ状の岩場を辿り三〇分程でまだ薄暗い仙水峠に着く。丁度、雲を茜に染めて太陽が昇ってきた。美しい。ここから駒津峰までの九〇分が厳しい登りだが、北岳、アサヨ峰、鳳凰三山、間の岳、仙丈岳等が間近に展望され素晴らしい。アキノキリンソウ、シャジン、ゴゼンタチバナ、シヤクナゲ、ツメクサなども咲いていて、疲れを忘れさせてくれる。

駒津峰からは甲斐駒ヶ岳、摩利支天の威容が迫力を増す。六方石までは大岩を重ねたやせ尾根の厳しい下りが続く。やがて森林限界を越え、花崗岩のざれた白い山肌となり、滑りやすい急登になり黒戸尾根コースを合わせると甲斐駒ヶ岳の頂上到着。一等三角点と不動明王を安置した石祠がある。一〇人程の先着者がいた。頂上到着



寸前に谷から湧き上がるガスで視界が遮られ、富士の遠望は叶わなかったのは残念。記念撮影やそれぞれのケータイでの登頂連絡の後、下山に掛かる。大勢の登山者が次々と登ってくる。駒津峰の登り返しがこたえる。早めの昼食の後、ダケカンバやハイマツの中を双

児山へ。ここからの甲斐駒が見納め。北沢峠まで樹林の中を延々と下り、臨時のマイクロボスに乗り、広河原からタクシーで甲府駅へ。

二日とも快晴に恵まれ、快適な山旅が出来ました。ありがとうございました。お疲れ様でした。

(記・吉田 正之)